

清野謙次 けんじの 病理學・人類學者、醫學博士。明治十八年八月十四日
岡山縣生れ、昭和二十年十一月十七日歿（八五—九五）。明治四十一
年京都帝國大學醫科大學卒。藤浪鑑の師事し、その歿後、藤浪先生追
悼録』（昭和十年十一月十八日京都・人文書院）を編輯。大正六年歐
洲留學。十年京都帝大教授となるも、昭和十二年京都神護寺寶物竊取
事件を起し辭職。この間「生體染色法」就ての研究」を帝國學士院賞
受賞。二十三年茨城縣霞ヶ浦の厚生科學研究所所長。東京醫大教授。
また自家塚を發掘して人骨千五百體以上を集めて分析、日本原人説を唱
へた。

著書『こゝろのぬ影』（昭和十二年五月一日京都・人文書院）、『大平
洋民族學』（昭和十八年五月—二十五年岩波書店）、『大平洋問題學術叢
書』（）、『日本人種論變遷史』（昭和十九年二月十五日小山書店）、
『大平洋に於ける民族文化の交流』（昭和十九年四月十日創元社）、
『日本民族生成論』（昭和二十一年二月—二十五年日本評論社）、『日
本歴史のあけぼの』（昭和二十二年九月—二十九年潮流社）、『古代人骨

の研究の基づく日本人種論』（昭和二十四年八月十四日岩波書店）、
『日本考古學・人類學史』（上
巻・昭和二十九年九月—三十年、
下巻・三十年八月十日岩波書
店）等。

